

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学整形外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025年 9月

福島県立医科大学医学部整形外科学講座 松本 嘉寛

■ 研究課題名

既存のパラフィン包埋標本を用いた原発巣と転移性骨腫瘍の腫瘍微小環境の比較

■ 研究期間

2025年9月 ～ 2030年9月

■ 研究の目的・意義

転移性骨腫瘍はすべてのがんで発生する可能性がありますが、病態や治療方針については一定の見解が得られていません。また近年、がんの進行や転移には免疫が強く関係することが明らかになり、免疫チェックポイント阻害薬などの免疫療法が注目されています。この研究の目的は、転移性骨腫瘍の免疫の状態を免疫染色や遺伝子（RNA）の解析で明らかにして、今後の免疫療法に役立てることです。

■ 研究対象となる方

2009年1月1日～2025年4月30日までの期間に、福島県立医科大学附属病院で、転移性骨腫瘍と診断され手術をされた方が対象です。

■ 研究の方法

対象となる方の電子カルテ上の診療情報から年齢、性別、患者背景、疾患の内容、治療内容、治療の経過、予後因子、画像検査の項目についてデータを収集します。手術や検査時に採取して、パラフィン包埋標本として保管されていた試料に免疫染色を行い、どのような分子が発現しているのか確認します。また、試料からRNAを抽出し解析を行います。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025年9月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学整形外科学講座であり、研究責任者は整形外科学講座松本嘉寛です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学整形外科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

収集された試料の一部は、解析のため委託先であるアズワン株式会社へ提供します。研究 ID と解析に必要な情報のみを付して提供します。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部整形外科学講座 担当：小川 到

電話：024-547-1276 FAX：024-547-5505

e-mail：fortho@fmu.ac.jp